



取付説明書

VICS アンテナ(フィルムタイプ)

品番: **CA-PVANF3D**

適合機種: (2011年4月現在)

CN-GP710VD/SP710VL

CN-GP510VD/SP510VL

※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書および接続する機器の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

| | | | |
|--------|---------|----|------------|
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 品番 | CA-PVANF3D |
| 販売店名 | ☎ () - | | |

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

お客様相談センター

- フリーダイヤル ☎ 0120-50-8729
受付 9:00~18:30/365日
※携帯電話・PHSからのご利用になれません。

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**

※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

- F A X* 045-938-1573
受付 9:00~18:30 (土・日・祝日・当社休日を除く)
※通話料は、お客様のご負担となります。

© Panasonic Corporation 2011
Printed in Japan

2RR6P12A85000 S0411-0

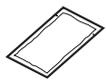
仕様

| | |
|-----------|--------------------|
| 品名 | VICS アンテナ(フィルムタイプ) |
| 利得 | -30 dB以上 |
| 周波数範囲 | 76~90 MHz |
| 出カインピーダンス | 75 Ω |
| 貼り付け場所 | フロントウィンドウ(車内側) |
| 質量 | 92 g(フィルムアンテナ一式) |

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書に記載の寸法・質量は、おおよその数値です。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

| 品名 | 数量 |
|---|----|
|  フィルムアンテナ | 1 |
|  アンテナケーブル (4.8 m) | 1 |
|  コードクランパー | 3 |
|  クリーナー | 1 |
|  アーステープ | 1 |
|  固定シート | 2 |
|  取付説明書 (本書) | 1 |

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



注意



説明書に従って、正しく取り付けや配線をする
火災や故障の原因になります。作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

VICS アンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因になります。



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。



コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじめる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。

- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回してください。

- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

天気の良い日中に取り付ける

雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因となることがあります。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因になります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしてない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品などが飛ばされ、死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

クランプなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

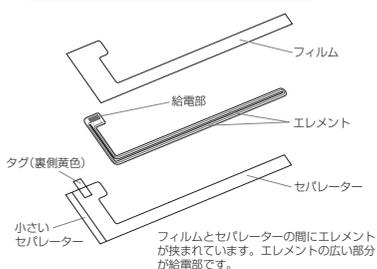
VICS アンテナ(フィルムタイプ)について

貼り付ける前に

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- ビラーにフロントエアバッグを搭載している車には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車検適合させるために、右記「貼付許容範囲について(VICS アンテナ)」および本書の取付方法をよくお読みの上、正しく取り付けください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
- 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所(リアウィンドウなど)に貼り付けると、受信感度が低下します。
- アンテナの表面保護用ビニールをはがしたあと、アンテナ貼り付け面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き直しなどを十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、貼り直してできません。

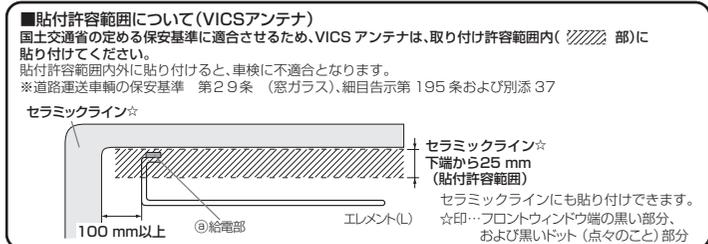
フィルムアンテナの構成



- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標準などと重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントウィンドウに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。(指定の位置・寸法内に貼り付けられない場合があります。)

貼り付け位置について

- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナからフィルムアンテナを100 mm ~ 150 mm程度(下図〈車内から見た図〉参照)離して貼り付けてください。



〈車内から見た図〉

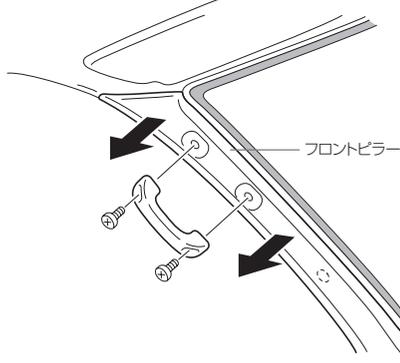


VICS アンテナ(フィルムタイプ)の貼り付けについて

1 内張りを取り外す

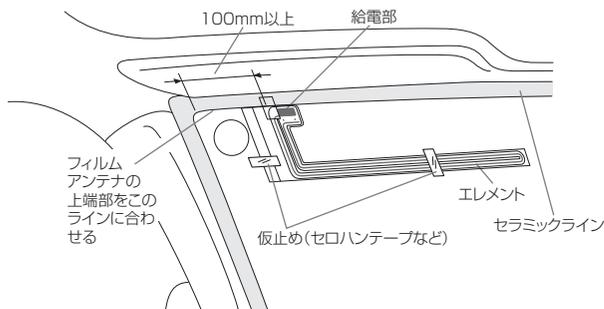
(1)フロントウィンドウ横のフロントピラー(左)を取り外す。

- フロントピラーは、クリップや、ネジなどで固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。

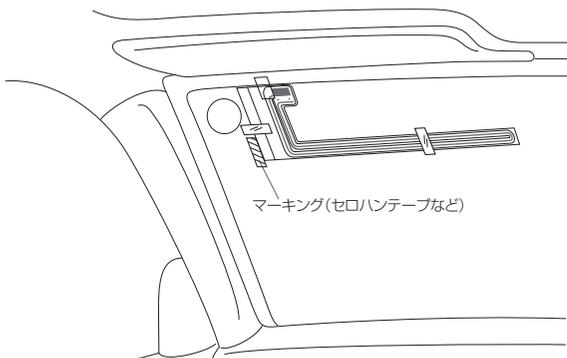


2 貼り付け位置について(表面参照)をよく読んで貼り付け位置を決める

(1)エレメントの給電部を上にし、セラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープで仮止めする。



(2)エレメントの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングしてください。



3 エレメントを貼り付ける

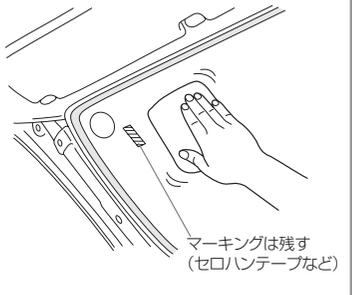
※マーキングは残して、仮止めしたフィルムアンテナを取り外してから行ってください。

エレメント貼り付けについてご注意

- エレメントのはり紙は、エレメントののりの強さとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、エレメントが細いため、まれに移行がうまくいかないことがあります。その場合はあせらず、一度元の状態に戻し、強く押し付けてからやり直してください。
- エレメント貼り付け直後(3時間以上)は貼り付けたエレメントにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布などを使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

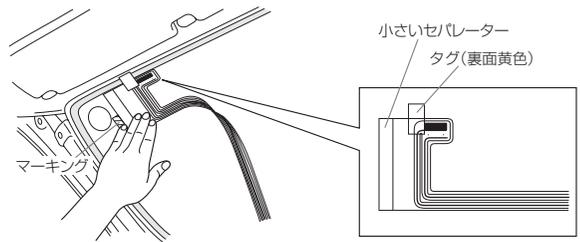
3 (1)フロントウィンドウの汚れ(ゴミ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

- クリーナーできれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。
- ※フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けしないでください。エレメントがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。
- ※作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。



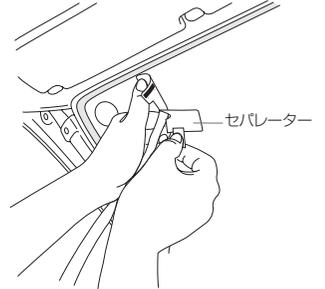
(2)フィルムの端をガラスに付けて固定する。

- 小さいセパレーターをはがして、マーキング(セロハンテープ)に合わせて貼り付けてください。



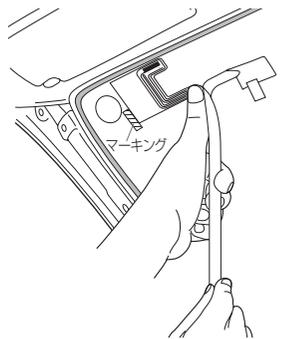
(3)タグ(黄色)を持ってゆっくりとセパレーターをはがす。

- フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりと軽くはがしてください。
- ※エレメントがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してエレメント上を押しつけて、再度セパレーターをはがしてください。(最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様に押し付けてから、はがしてください。)
- セパレーターを急にはがしたり、極端にゆっくりはがしたり、フィルムを強く曲げたりするとエレメントが断線するおそれがあります。
- ※セパレーターをはがしたあとは、のり面(エレメント黒色の方側)に指紋やホコリなどがつかないように注意してください。エレメントが貼り付かなくなります。



(4)フィルムを軽く引っ張りながら貼り付ける。

- フィルムがたるむと空気が入るため、指で強く押し付けながらマーキング(セロハンテープ)に合わせてガラスに貼り付けて下さい(途中で止まると白くにごります)。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

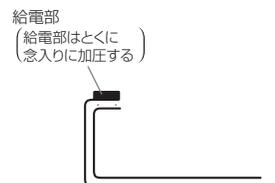


一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。

- セパレーターは指で押し付ける過程で押し出されるので、軽くはがしたあとは触れずに貼り付けることができます。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。

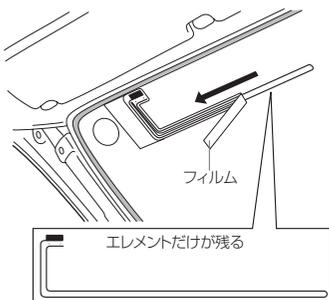
(5)全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りにくいので念入りに加圧してください。
- ※加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラなどを使用してください。
- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼り付け部に気泡(白っぽく見えます)が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。



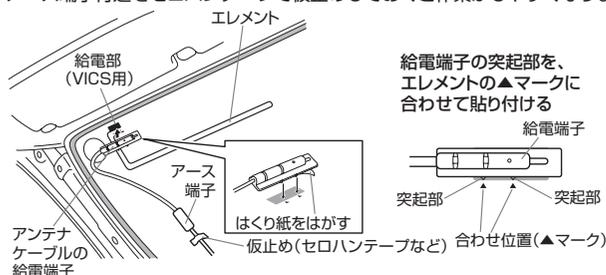
3 (6) フィルムを右端からゆっくりと左方向にはがす。

- エレメントがフロントウィンドウに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- ※ 勢いよくはがすとエレメントが断線しますのでやめてください。
- ゆっくりとはがしてもフィルムとともにエレメントがはがれる(フロントウィンドウに転写されない)場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エレメントを強く押し付けてください。
- ※ フィルムをはがしたあとはエレメントの給電部に触れないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下するおそれがあります。
- 貼り付け直後はガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。
- 貼り付け完了後には柔らかい布などで上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。



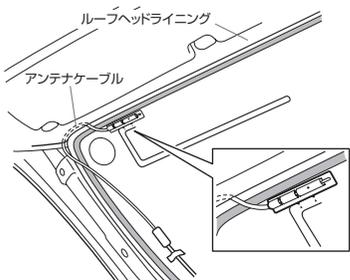
4 給電端子をエレメントに取り付ける

- (1) アンテナケーブルの給電端子をエレメントの給電部に取り付ける。
 - 給電端子のはくり紙をはがして、エレメントの給電部の▲印と給電端子の先端の突起部を合わせて取り付けます。
 - アース端子付近をセロハンテープで仮止めしておくとな作業がしやすくなります。



- (2) アンテナケーブルをルーフヘッドライニング(天井の内張り)内に配線する。

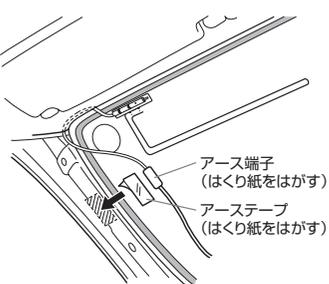
- ルーフヘッドライニングの端の部分を下げて、アンテナケーブルをルーフヘッドライニング内に収めてください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えてルーフヘッドライニングが折れ曲がらないよう注意してください。
- 給電部に負担をかけないよう給電端子を手で押さえながら配線作業を行ってください。
- アンテナケーブルを強く引っ張ったり、ストレスや、かみ込みなどがないようにケーブルを配線してください。



5 アース部を車の金属部に貼り付ける

- (1) ボディーにアーステープを貼り付ける。

- アンテナケーブルのアース端子が届く範囲内で、車の板金ボディーにアーステープを貼り付けてください。(貼り付け面の汚れはよく拭き取ってください。)
- アーステープは、必ず車両の平面な金属部分に全体を貼り付けてください。平面でない部分やクリップ穴部、ネジ穴部などへは貼り付けしないでください。またボディーの塗装をはがさないでください。



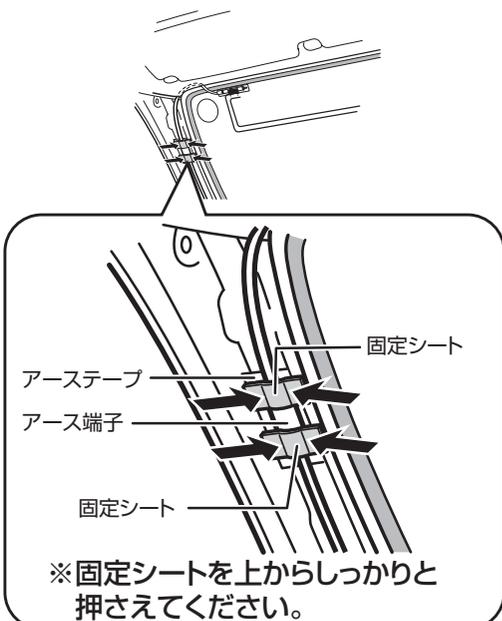
- (2) アーステープの上にアース端子を貼り付ける。

- アース端子のはくり紙をはがし、アーステープに全体を貼り付けてください。アーステープからはみ出したり、貼り付いていない部分がないことを確認してください。

お知らせ 貼り付けが弱いと、アース端子が浮き VICS の受信感度が悪くなります。

5 (3) 付属の固定シートを使用して、アース端子が浮かないように貼り付ける。

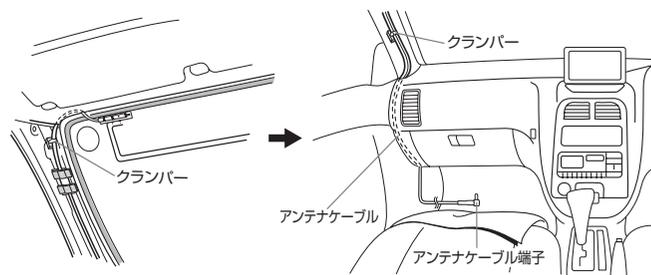
アース端子を固定するように上からしっかり押さえつけてください。



6 アンテナケーブルを配線する

- (1) クランパーでアンテナケーブルを固定しながら配線する。

- フロントビラーを取り付ける際にコードをはさみ込まない位置に配線してください。



- (2) 内張りを元に戻す。

お願い コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。

7 VICS アンテナ(フィルムタイプ)ケーブル端子をカーナビゲーション側面の VICS アンテナ端子へ接続する。

※ 接続位置は一例で記載しています。カーナビゲーションに付属の取扱説明書【※「各部のなまえとはたらき」を参考に VICS アンテナ端子をご確認し、接続してください。

